

# 浮世絵—国芳から芳年へ

さまざまなジャンルで活躍した江戸庶民の人気者、歌川国芳。  
斬新で自由な国芳の作品は、今もなお私たちを魅了します。  
国芳の弟子のひとりに、月岡芳年という絵師がいました。  
芳年は明治期の浮世絵界の第一線をつねに走りつづけましたが、  
洗練されたその画風には、どこか江戸の面影も漂っています。  
国芳から芳年へ、江戸から明治へと受け継がれた浮世絵の世界をご堪能ください。

## 開催要項

展覧会名 「浮世絵 —国芳から芳年へ」

会 期 2012年3月3日(土)～4月1日(日) 月曜休館

会 場 町田市立国際版画美術館  
〒194-0013 東京都町田市原町田 4-28-1  
TEL:042-726-2771/0860 FAX:042-726-2840  
※小田急線・JR横浜線町田駅より徒歩15分

開場時間 火～金 午前10:00～午後5:00(入場は午後4:30まで)  
土・日・祝日 午前10:00～午後5:30(入場は午後5:00まで)

観 覧 料 一般＝600(500)円、大・高生と65歳以上＝300(200)円  
※( )内は20名以上の団体料金です。  
※身体障がい者手帳または愛の手帳等をご持参の方と付き添いの方1名は半額となります。  
※展覧会初日3/3(土)は入場無料です。  
※中学生以下は入場無料です。

主 催 町田市立国際版画美術館

### ◇開催趣旨

幕末に活躍した歌川国芳(1797～1861)は、「武者絵の国芳」として名高く、洋風の説話画や美人画など、さまざまなジャンルに筆をふるいました。近年はその斬新な発想ゆえに「奇想の絵師」としても注目をあつめ、いまもなお私たちを魅了します。

人情に厚い江戸っ子だった国芳にはたくさんの弟子がいました。そのひとり月岡芳年(1839～92)は、デビュー当時には国芳の作風をよく学んだ浮世絵を描いていました。明治期になると師匠の作品には見られない繊細な筆づかいに個性を発揮、美人画や日本古来の説話画を多く生み出し、明治期の浮世絵界の第一線をつねに走りつづけました。芳年は明治という新しい時代よりも江戸の昔を懐かしんだ人だったので、洗練されたその作品にはどこか江戸の面影が漂っています。

本展では、国芳から芳年へと受け継がれた、幕末明治期の浮世絵約120点をご紹介します。高度な技術によって生み出された浮世絵の多彩さ、美しさをご堪能ください。

◇ 出品作品数 浮世絵約120点

(国芳作品約40点、芳年作品約65点、関連する絵師の作品約15点)

## ◇主な出品作品

歌川国芳『唐土二十四孝』全 24 図 嘉永(1848～52)期  
歌川国芳・三代歌川豊国・歌川広重『小倉擬百人一首』より 天保末～嘉永5年(1843～1853)  
月岡芳年『和漢百物語』より 慶応元年(1865)  
月岡芳年『魁題百撰相』より 慶応4年～明治2年(1868～69)  
月岡芳年『風俗三十二相』より 明治21年(1888)  
月岡芳年『月百姿』より 明治18年～25年(1885～1892)

※技法はすべて多色摺り木版

## ◎関連催事

☆ギャラリー・トーク…いずれも午後2時～ 40分程度

※観覧券が必要です。企画展示室入口にお集まりください。

- ①館長村田哲朗によるスペシャル・トーク …3月11日(日)
- ②学芸員によるギャラリー・トーク …3月4日、18日、4月1日(いずれも日曜)

## ☆ 体験イベント「芳年を摺ろう」

3月10日(土) 午後1時30分～4時 お1人の所要時間は約5分

月岡芳年『和漢百物語』のうち「宮本無三四」をもとに復刻した版木(単色)を、ばれんを使って和紙に摺ってみましょう。

会場: 1F エントランスホール

申込不要・先着30名

\* 子どもから大人まで参加できます。

## ☆ 公開制作「木版画 伝統的技術と現代の版表現」

版画家 鹿嶋裕一

3月24日(土) 午前11時～午後4時30分(午後12時30分から1時30分は閉室)

伝統的な木版画の技法と現代版画の表現が、どのように結びついているのかを、彫りや摺りなどを中心に紹介します。

会場: 1F アトリエ

\* どなたでも自由に見学できますが、混雑時は入室を制限することがあります。

※体験イベント、公開制作は無料。未就学児および低学年児童は保護者の同伴が必要です。

お問い合わせ: Tel.042-726-2889(普及係)

## ☆美術館で語りあおう～トークフリーデー …… 展覧会初日を除く水・土曜

「鑑賞のための静けさ」よりも作品をめぐる会話を楽しんでいただくという試みです。

小さなお子さま連れの方も気兼ねせずにご入場ください。

同時開催 ミニ企画(入場無料) 2012年1月5日(木)～4月1日(日)

シリーズ<現代の作家> 田中陽子

問い合わせ 町田市立国際版画美術館 展覧会担当:学芸員 河野結美

〒194-0013 東京都町田市原町田4-28-1

Tel: 042-726-0860(学芸係) FAX: 042-726-2840

E-mail: bunspo040@city.machida.tokyo.jp

## ☆ウェブサイト掲載の際のお願い

当館の展覧会情報をウェブサイトに掲載して下さる場合、URLは下記にてお願いいたします。

公式サイト: <http://hanga-museum.jp>